

## こころとからだのしくみ

問題 97 記憶に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 短期記憶では、膨大な情報の貯蔵が可能である。
- 2 記憶には、記銘と保持と想起の3つの過程がある。
- 3 手続き記憶とは、自分に起こった出来事に関する記憶である。
- 4 エピソード記憶とは、一般的な知識についての記憶である。
- 5 記憶の処理は、中脳で行われる。

問題 98 関節運動とその主動作筋(主として働く筋肉)の組み合わせとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 肩関節外転 —— 上腕二頭筋
- 2 手関節屈曲 —— 上腕三頭筋
- 3 こかんせつくつきよく 股関節屈曲 —— 腸腰筋
- 4 こかんせつしんでん 股関節伸展 —— 腹直筋
- 5 かたいざんとうきん 足関節伸展 —— 下腿三頭筋

問題 99 糖尿病(diabetes mellitus)のある人の身支度の介護で、異変の有無について特に観察すべき部位として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 毛髪
- 2 耳介
- 3 びくう 鼻腔
- 4 手指
- 5 そくし 足趾(指)

問題 100 廃用症候群(disuse syndrome)として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 筋肥大
- 2 高血圧
- 3 頻脈
- 4 じょくそう 褥瘡
- 5 そうびょう 躁病 (mania)

問題 101 ごえん 誤嚥を防止している部位として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 甲状軟骨
- 2 こうがいすい 口蓋垂
- 3 こうとうがい 喉頭蓋
- 4 こうがいへんとう 口蓋扁桃
- 5 食道

**問題 102** 食事のたんぱく質制限が必要な疾患として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 胃潰瘍(gastric ulcer)<sup>いかいよう</sup>
- 2 尿毒症(uremia)
- 3 痛風(gout)
- 4 脂質異常症(dyslipidemia)
- 5 狭心症(angina pectoris)

**問題 103** 入浴による静水圧の直接的な作用として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 毛細血管の拡張
- 2 関節への負担の軽減
- 3 下肢のむくみの軽減
- 4 体重による負担の軽減
- 5 老廃物はいせつの排泄の促進

**問題 104** 弛緩性便秘しかんせいべんぴの原因として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 大腸ぜんどううんどうの蠕動運動の低下
- 2 過敏性腸症候群(irritable bowel syndrome)
- 3 自律神経の失調
- 4 排便反射の低下
- 5 大腸がん(colorectal cancer)

問題 105 多尿の原因として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 脱水
- 2 副交感神経優位
- 3 前立腺肥大症ぜんりつせんひだいしょう(prostatic hypertrophy)
- 4 ビタミンC (vitamin C)の過剰摂取
- 5 糖尿病(diabetes mellitus)

問題 106 睡眠に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ヒトは下垂体に体内時計がある。
- 2 抗ヒスタミン薬かくせいさようは覚醒作用がある。
- 3 睡眠は深さよりも長さが重要となる。
- 4 レム睡眠は30分ごとに繰り返し出現する。
- 5 最も深い眠りの段階はノンレム睡眠である。

問題 107 睡眠障害に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 入眠障害とは、眠りが浅く途中で何度も目が覚めることである。
- 2 レストレスレッグス症候群(restless legs syndrome)は、早朝覚醒そうちょうかくせいの原因となる。
- 3 睡眠が不足すると、副交感神経が活発になる。
- 4 肥満は、睡眠時無呼吸症候群(sleep apnea syndrome)の原因となる。
- 5 周期性四肢運動障害は、睡眠中に大声の寝言や激しい動作を伴う。

**問題 108** Fさん(72歳, 男性)は数か月前から食欲不振があり, 体重も減少した。

市内の総合病院を受診したところ, 末期の胃がん(gastric cancer)と診断され, 緩和医療を受けることを勧められた。

Fさんの今の心情を, キューブラー・ロス(Kübler-Ross, E.)の提唱した心理過程の第1段階に当てはめた表現として, **適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 「病気を治すためなら, 財産を全部使ってもいい」
- 2 「なぜ私だけが病気になって, 死ななければならないのか」
- 3 「診断は何かの間違いで, とても信じられない」
- 4 「死は誰にでも訪れる自然なことだから, 受け入れよう」
- 5 「末期がんなら, 何をしてもどうせ無駄だ」